HG/WEB Defender 障害診断ツール

取扱説明書

ⓒ HyperSECURE,Inc., All Rights Reserved.

この内容は予告なしに変更される場合がございますので予めご了承ください。
㈱ハイパーセキュアの書面許可なしに修正、コピー、保存、流通などを禁止します。また、この説明書に記載される当社製品のトレードマーク、著作権または知的所有権に対する権利は、㈱ハイパーセキュアが保有します。

Rev.1.00

改版履歴

バージョン	日付	変更内容
Rev.1.00	2009/2/26	初版

目次

1 はじめに.....1
2 HG/WEB Defender 障害診断ツールの使用目的.....2
3 展開方法.....3
4 使用方法.....8
5 メッセージリスト.....12
6 テクニカルサポート.....21

1 はじめに

本書は、HG/WEB Defender 障害診断ツールの使用方法について記載しています。

HG/WEB Defender 障害診断ツールをご使用になる前に必ずお読みください。

本書は事前の予告なく改訂される場合があります。

2 HG/WEB Defender 障害診断ツールの使用目的

2-1 機能

① HG/WEB Defender障害診断ツール(以下、診断ツール)を実行することにより、HG/WEB Defenderが正しくインストールされているかを確認し、コンピューターがHG/WEB Defenderを動作させられる設定になっているか診断を行います。

② 診断後に問題が見つかった場合、解決方法を表示します。

③ 診断結果をテキストファイルに出力します。

2-2 使用目的

診断ツールは下記の場合に使用します。

① HG/WEB Defenderが正しくインストールされているか診断を行う場合。

② PCの設定がHG/WEB Defenderを動作させられる設定になっているか診断を行う場合。

2-3 動作環境

Windows 2000 Professional SP4 日本語版

Windows XP Professonal SP2/SP3 (32bit版) 日本語版

Windows XP Home SP2/SP3 (32bit版) 日本語版

Windows Vista SPなし/SP1 Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate (32bit版) 日本語版

※ 診断ツールは、必ずHG/WEB Defenderを使用するWindowsユーザーアカウントで実行してください。

HG/WEB Defenderを使用するユーザーアカウントとは別アカウントで診断ツールを実行した場合、

診断が正しく行われません。

3 展開方法

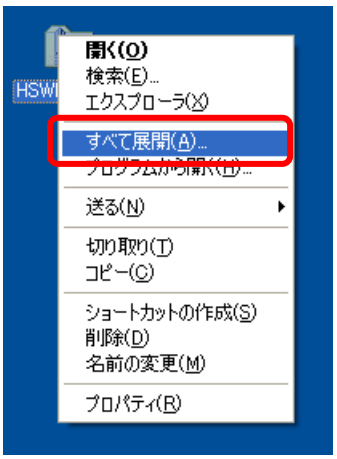
診断ツールは、ZIP形式で提供しております。

ここでは、ZIP形式で提供している診断ツール(ファイル名:HSWDChk.zip)の WindowsXP/Vista標準環境での展開方法を説明いたします。Windows2000環境では、別途Lhasa等のZIP解凍ツールをご用意下さい。

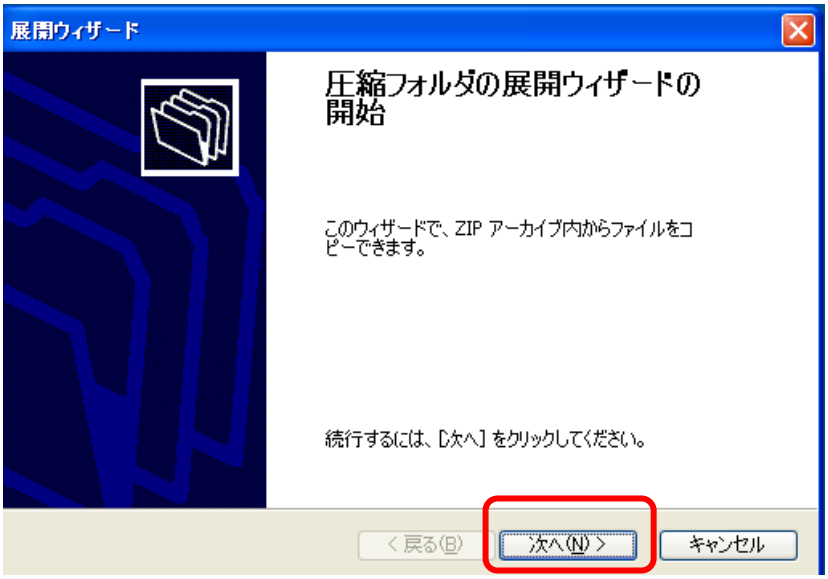
3-1 WindowsXPでの展開方法

デスクトップ上に「HSWDChk.zip」を保存して下さい。

1） デスクトップ上にある「HSChkEnv.zip」を右クリックし、メニューから「すべて展開」を選択して
ください。

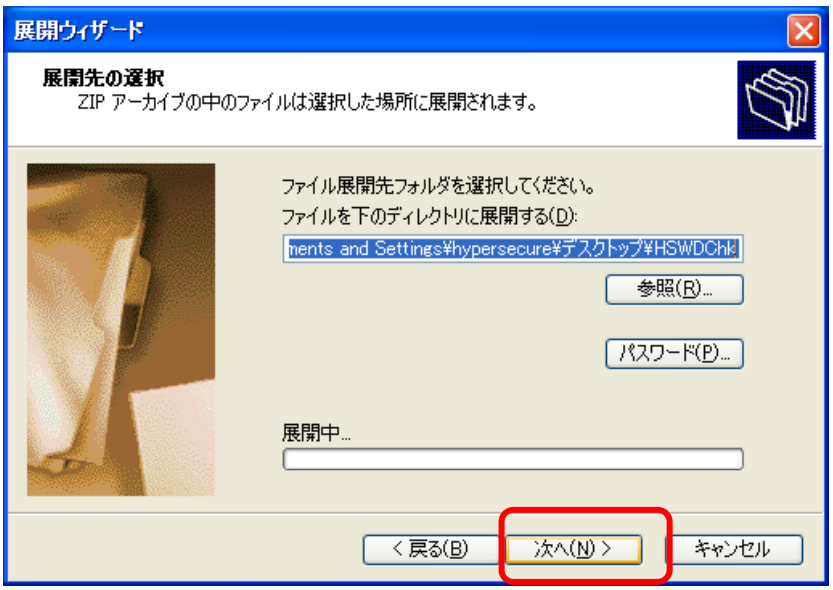


2） 展開ウィザードが表示されるので、画面にある「次へ(N)>」をクリックしてください。



3） ファイルの展開先をデストクップ上へ指定し、「次へ(N)>」をクリックして下さい。

ファイルの展開処理が開始されます。
標準でデストクップ先が指定されます。特に変更する必要はありません。

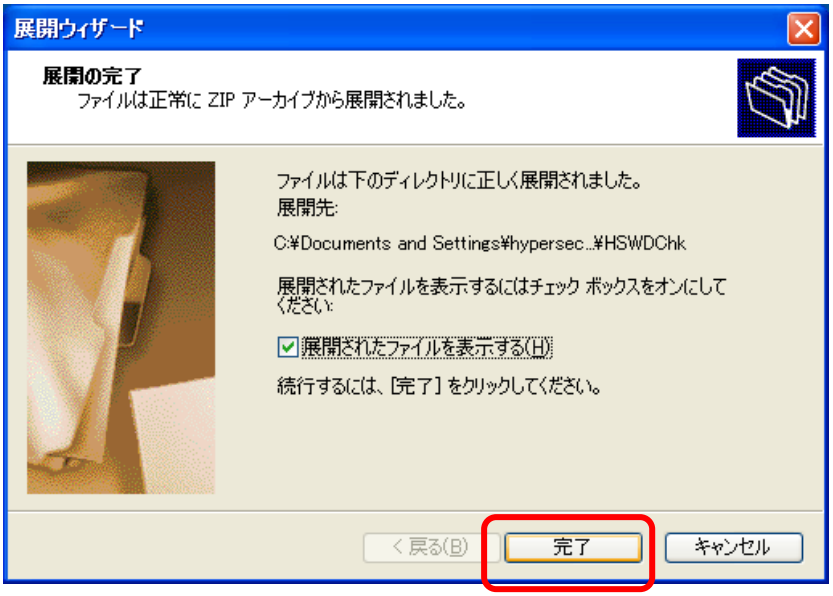


4） ファイルの展開が終了します。

デスクトップ上に「HSChkEnv」というフォルダが作成されれば準備完了です。

「展開されたファイルを表示する」にチェックを入れた場合、「HSChkEnv」フォルダが開かれます。

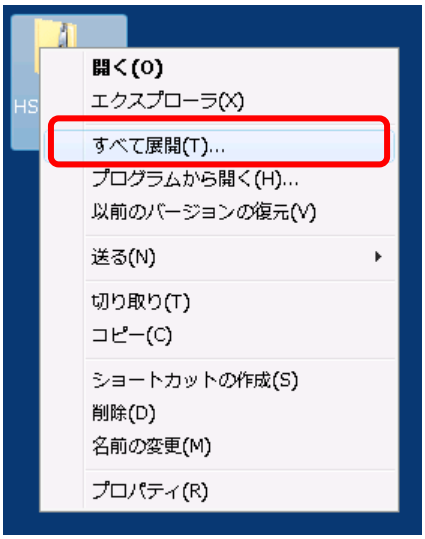
「完了」をクリックし、展開ウィザードを終了してください。



3-2 WindowsVistaでの展開方法

1） デスクトップ上に「HSHDChk.zip」を保存して下さい。

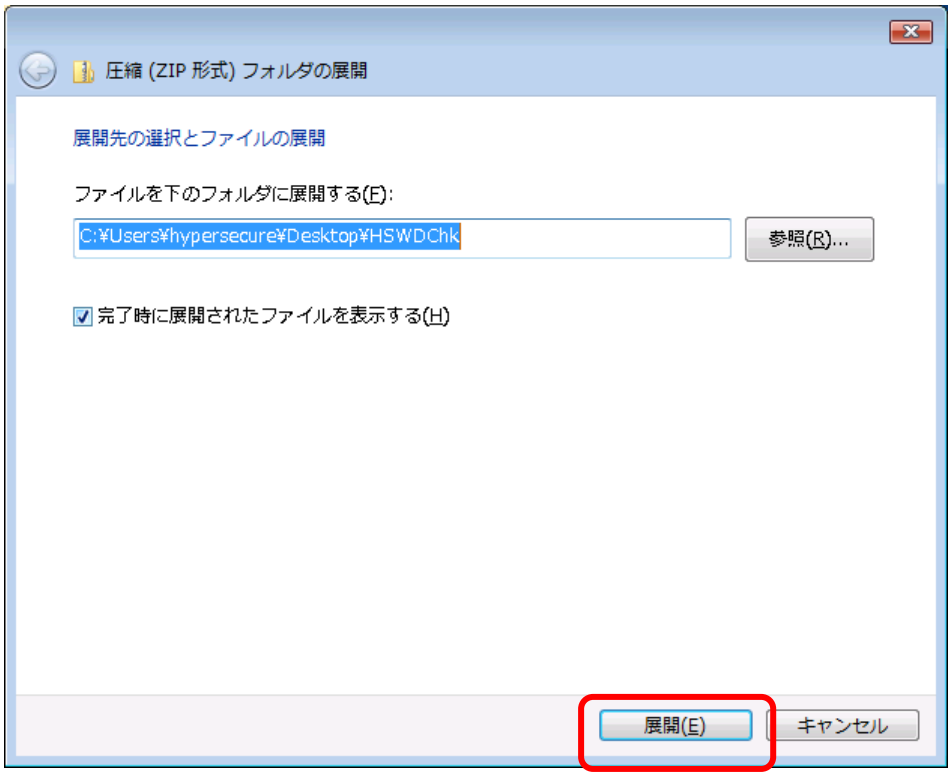
2） デスクトップ上にある「HSChkEnv.zip」を右クリックし、メニューから「すべて展開」を選択すると、「圧縮(ZIP形式)フォルダの展開」画面が表示されます。



ファイルの展開先をデストクップ上へ指定し、「展開(E)>」をクリックして下さい。

ファイルの展開処理が開始されます。

標準でデストクップ先が指定されます。特に変更する必要はありません。



3） ファイルの展開が終了します。

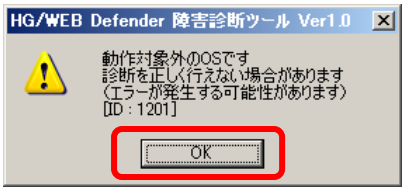
デスクトップ上に「HSChkEnv」というフォルダが作成されれば準備完了です。

4 使用方法

1） 展開したフォルダ内の、「HSWDChk.exe」をダブルクリックで実行します。

※動作対象外のOSで実行した場合、メッセージが表示されます。その場合は「OK」をクリックしてください。

診断を正しく行えない可能性がありますが、診断を続行します。



2） 診断ツールのメイン画面が表示されます。

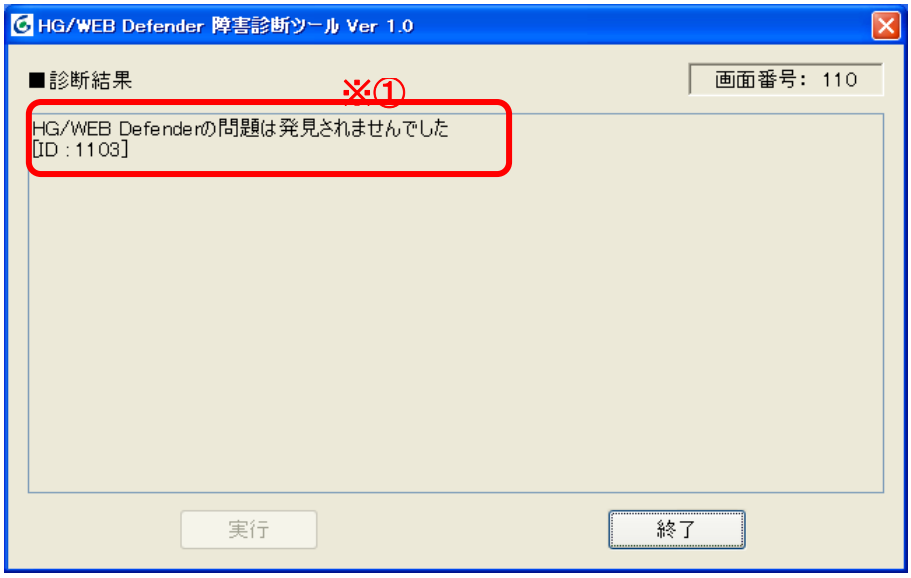
「実行」をクリックすると、診断を実行します。

「キャンセル」をクリックすると、診断を行わずに終了します。

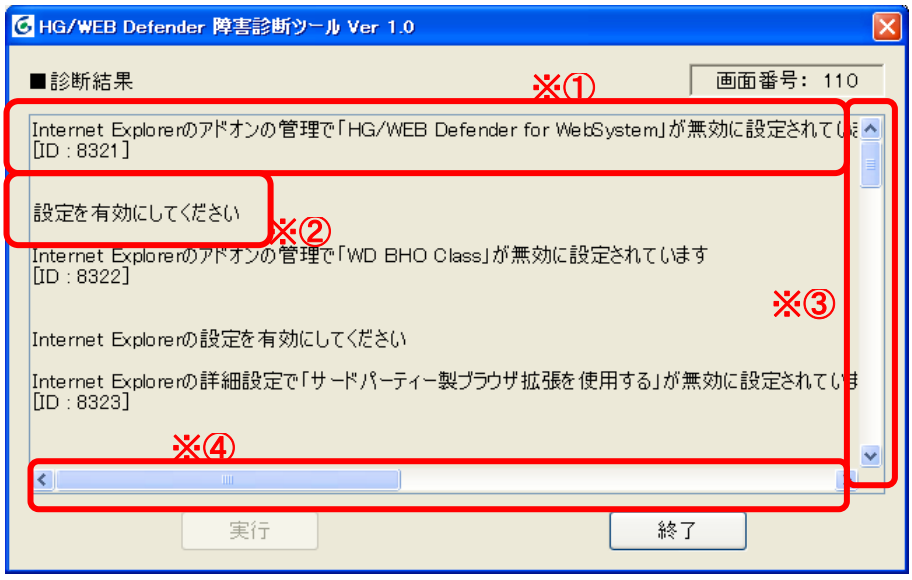
3） 「実行」ボタンをクリックすると、診断結果が画面に表示されます。

診断結果に問題がなかった場合

HG/WEB Defenderは正常に動作しています。



診断結果に問題があった場合



※① 診断結果

1行目に診断結果メッセージ

2行目にメッセージID

の形で表示されます。

※② ①で検出された問題の対応方法が表示されます。

※③ 問題が複数で一画面に収まらない場合に、縦スクロールバーが表示されます。

※④ 診断結果が長文で、画面に収まらない場合に横スクロールバーが表示されます。

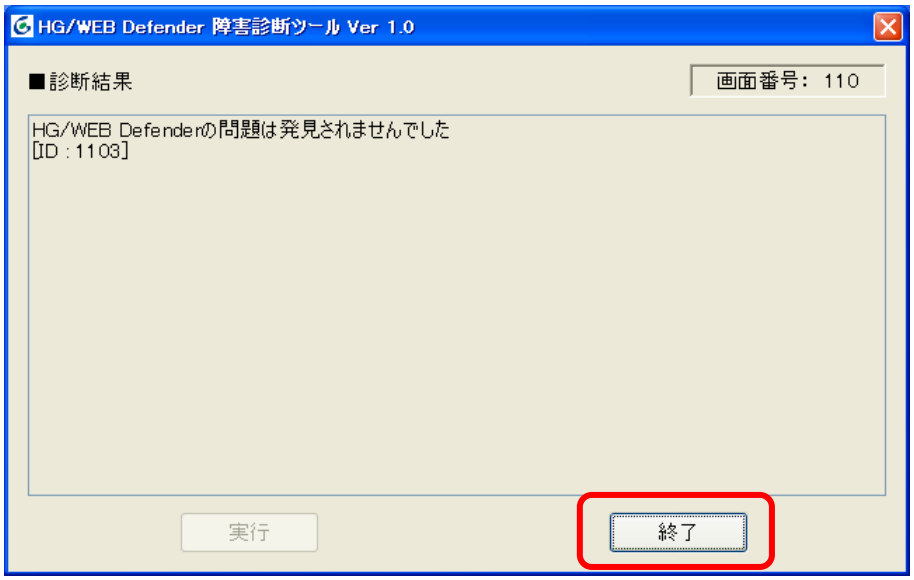
また、同時にデスクトップ上に診断結果が記録されている

[HSWDChkv日時.txt]のファイルが作成されます。

このテキストファイルは、貴社にて内容を確認していただき、対応を行う際、

弊社に送付いただき対応する際、に用います。

4）「終了」をクリックし、診断ツールを終了してください。



5 メッセージリスト

メッセージID	診断結果メッセージ	対応方法メッセージ	対応手順
1103	HG/WEB Defenderの問題は発見されませんでした		HG/WEB Defenderは正しく動作しています。
1104	HG/WEB Defenderをインストール可能な状態です HG/WEB Defenderはインストールされていません		HG/WEB Defenderをインストール可能な状態です。HG/WEB Defenderのインストールを行ってください。
1105	HG/WEB Defenderをインストール可能な状態です HG/WEB Defenderはインストールされていません キャプチャ制御機能はインストールされています		HG/WEB Defenderをインストール可能な状態です。HG/WEB Defenderのインストールを行ってください。
8301	サーバOSはHG/WEB Defenderの動作対象外です	クライアントOSを使用して下さい	サーバOSはHG/WEB Defenderの動作対象外です。 HG/WEB Defenderの対応環境でご使用ください。
8302	64ビット版OSはHG/WEB Defenderの動作対象外です	32ビット版OSを使用して下さい	64ビット版OSはHG/WEB Defenderの動作対象外です。 HG/WEB Defenderの対応環境でご使用ください。
8303	Internet Explorer 6.0 / 7.0 以外のブラウザはHG/WEB Defenderの動作対象外です	Internet Explorer 6.0 / 7.0を使用して下さい	Internet Explorer 6.0 / 7.0 以外のブラウザはHG/WEB Defenderの動作対象外です。 HG/WEB Defenderの対応環境でご使用ください。
8304	HG/WEB Defenderのキャプチャ制御機能が正しくインストールされていません	HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください	専用アンインストーラーでHG/WEB Defenderをアンインストール後に、HG/WEB Defenderを再インストールしてください。

8321	Internet Explorerのアドオンの管理で「HG/WEB Defender for WebSystem」が無効に設定されています	設定を有効にしてください	1. インターネットオプションの、「プログラム」タブを選択します。 2. 「アドオンの管理」ボタンを選択し、アドオンの管理ウインドウを表示します。 3. 「Internet Explorerで使用されたアドオン」を選択し、表示されたアドオンの一覧で、 ①HG/WEB Defender for WebSystem ②WD BHO Class 上記2つのアドオンを、「有効」に切り替えます。 4.「OK」を選択し、アドオンの管理ウインドウを閉じ、「インターネットのプロパティ」ウインドウも閉じてください。
8322	Internet Explorerのアドオンの管理で「WD BHO Class」が無効に設定されています	Internet Explorerの設定を有効にしてください	1. インターネットオプションの、「プログラム」タブを選択します。 2. 「アドオンの管理」ボタンを選択し、アドオンの管理ウインドウを表示します。 3. 「Internet Explorerで使用されたアドオン」を選択し、表示されたアドオンの一覧で、 ①HG/WEB Defender for WebSystem ②WD BHO Class 上記2つのアドオンを、「有効」に切り替えます。 4.「OK」を選択し、アドオンの管理ウインドウを閉じ、「インターネットのプロパティ」ウインドウも閉じてください。

8323	Internet Explorerの詳細設定で「サードパーティー製ブラウザ拡張を使用する」が無効に設定されています	Internet Explorerの設定を有効にしてください	1. インターネットオプションの、「詳細設定」タブを選択します。 2.「ブラウズ」の項目にある、 「サードパーティ製のブラウザ拡張を有効にする(再起動が必要)」に、チェックを入れます。 3.「OK」ボタンを選択し、インターネットのプロパティを閉じます。
8324	Internet Explorerのセキュリティの設定で「信頼済みサイト ゾーン:ActiveXコントロールとプラグインの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2.「信頼済みサイト」と書かれたアイコンを選択します。 3.「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8325	Internet Explorerのセキュリティの設定で「イントラネット ゾーン:ActiveXコントロールとプラグインの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2.「イントラネット」と書かれたアイコンを選択します。 3.「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。

8326	Internet Explorerのセキュリティの設定で「インターネット ゾーン：ActiveXコントロールとプラグインの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「インターネット」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8327	Internet Explorerのセキュリティの設定で「信頼済みサイト ゾーン：スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「信頼済みサイト」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。

8328	Internet Explorerのセキュリティの設定で「イントラネット ゾーン:スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「イントラネット」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8329	Internet Explorerのセキュリティの設定で「インターネット ゾーン:スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「インターネット」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。

8330	Internet Explorerのセキュリティの設定で「信頼済みサイト ゾーン:署名済みActiveXコントロールのダウンロード」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「信頼済みサイト」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8331	Internet Explorerのセキュリティの設定で「イントラネット ゾーン:署名済みActiveXコントロールのダウンロード」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「イントラネット」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。

8332	Internet Explorerのセキュリティの設定で「インターネット ゾーン:署名済みActiveXコントロールのダウンロード」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「インターネット」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8333	Internet Explorerのセキュリティの設定で「信頼済みサイト ゾーン:アクティブスクリプト」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2. 「信頼済みサイト」と書かれたアイコンを選択します。 3. 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。

8334	Internet Explorerのセキュリティの設定で「イントラネット ゾーン:アクティブスクリプト」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2.「イントラネット」と書かれたアイコンを選択します。 3.「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8335	Internet Explorerのセキュリティの設定で「インターネット ゾーン:アクティブスクリプト」の設定が、「有効にする」または「ダイアログを表示する」に設定されていません	設定を「有効にする」または「ダイアログを表示する」に変更するか、既定のセキュリティレベル「中」以下に設定してください	1. インターネットオプションの、「セキュリティ」タブを選択します。 2.「インターネット」と書かれたアイコンを選択します。 3.「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されている場合はスライダーを移動し、「中」以下に設定します。 「このゾーンのセキュリティレベル」にスライダーが表示されておらず、「カスタム」と表示されている場合は「規定のレベル」ボタンを選択し、スライダーを表示させ、その後スライダーを移動し、「中」以下に設定します。
8351	必要なファイルが見つかりませんでした	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください

8352	必要なレジストリが見つかりませんでした	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください
8353	レジストリの設定値が正しくありません	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください	HG/WEB Defenderクリーンアップツールを実行後、HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください
8354	HG/WEB Defenderのキャプチャ制御機能が正しくインストールされていません	HG/WEB Defenderの再インストールを行ってください	専用アンインストーラーでHG/WEB Defenderをアンインストール後に、HG/WEB Defenderを再インストールしてください。

※　上記以外のエラーが表示された場合や、対応手順通りに対応を行っても解決しない場合、

弊社サポート窓口までお問い合わせください。

弊社にお問い合わせいただく際には、

①　サポートシート

②　診断結果のテキストファイル

③　HSクライアント製品サポートツールで取得したPC環境情報

サポートシートに具体的な現象を記入し、②③を、メールに添付いただき、サポート窓口までお問い合わせください。

6 テクニカルサポート

ご質問は、弊社サポート窓口まで

株式会社ハイパーセキュア　メンテナンスサポート

サポート時間: 月～金 10:00～17:00（祝日、弊社休業日を除く）
電話番号：03-5225-6513
電子メール：support@hypersecure.jp
ホームページ: http://www.hypersecure.jp/

Microsoft, MS, Windows, Windows NT, Windows Vista, Office, Excel, PowerPoint,は米国、韓国、日本およびその他の国でのMicrosoft Corporationの登録商標又は商標です。

会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。